第68号　2006年7月7日　　発行人　松　雅彦　　編集人　湯淺慎司

道建労協機関紙

PAVE

Council of Road Construction Worker's Unions(C.R.U)

道路建設産業労働組合協議会　〒104-8380　東京都中央区京橋1-19-11（NIPPO 労働組合内）　電話03（3563）6744
URL.http://www1.ocn.ne.jp/~cru

20周年祝賀会

昨年12月を以て設立20周年を迎えた当協議会の祝賀会が労使セミナー終了後に開催された。席上、松議長は「20年を人間に例えると、大人の仲間入りをしたことになる。チャレンジする若さを持つ半面、惰性に生きるずるさを持ち始めるころ。志を高く持ち、さらなる成長を目指し、次の世代に確実につないでいく重責を感じている。設立時の理念を忘れず、地味ではあるが着実に前進していく。」と開催のあいさつをした。来賓には日合協三嶋会長、道建協渡邊副会長、企業代表としてNIPPOコーポレーション太田常務、建設産労懇（日建協）の宮野議長をお招きし、祝辞を頂いた。会場には歴代本部役員、労使セミナー参加者の総勢100名ほどがご多忙中にも拘わらず出席頂いた。祝賀会の半ばには、山本初代議長（NIPPOコーポレーション専務取締役）より設立当時を語って頂き、久々に顔を会わせた歴代本部役員方々は懐かしい思い出話に花を咲かせていた。会場内には笑顔が満ちあふれ、設立20周年をささやかながらも祝うことができた。名残惜しくもなったが、閉会のあいさつには北川副議長（今年度より専従体制になった大林道路職員組合の書記長）が専従の思いを込めたあいさつと今後の発展を願い、万歳三唱で締めた。

労使セミナー

去る２月15日に第21回労使セミナーを開催した。今回は元ホンダ技研人事開発室室長の光富敏夫先生をお招きし、「今後の人材育成の方向性」をテーマに講演を行った。会場には道建労協加盟単組の組合役員、建設産労懇の仲間、会社側より人事担当者が多数出席された。光富先生は、先端企業の第一線にて人材育成に関わってきた経験とノウハウ、そして今後の方向性について、ホンダ技研の人事部であった頃の昔話を交えながら将来を見据えた持論を熱弁された。講演の中で、ホンダ技研の勤務時代に上司から「組織において何かを変えることはみんなから非難される。しかし、そうあってこそ組織は変わっていく。」と心に残る一言に会場は戸惑いながらも頷く場面もあった。２時間半の講演後に質疑応答の場をもうけ、人事評価等について活発な質問にも丁寧に返答を頂き、参加者からは有意義なセミナーであったと好評を頂いた。

フリーウェイ

４年に１度のサッカーの祭典ワールドカップが開催されました。前回の日韓大会からもう４年も経ってしまったなんて、本当に早いものです。

聞くところによると、日本国内のW杯への関心は４年前のよりも高いそうで、W杯が日本にしっかり根を下ろしている証でしょう。

出場32チームは多彩であり、平均寿命を見ても日本男子が78・7歳だが、アンゴラ男子の平均寿命はなんと39・9歳　これにはビックリさせられ、平均所得を見てもアメリカの１／１００しかない国もある。しかし、ピッチの上ではそうした国も先進国もすべて対等であり、勝利の機会も均等であるがゆえおもしろく、毎日サッカー観戦し寝不足の方も居たりして。

野球では、第１回ＷＢＣが行われ、日本は世界一に輝きました。この大会はルール・運営方法にいくつか問題視されたが、絶望的なところから勝ち上がっての初代チャンピオンであり、強運を感じました。この運をＷ杯に再現できたらと思って…いたのだが。

三井住建道路労働組合　澄川　武

地協のない地域の交流会

東北地区

平成18年6月8日仙台市内のハーネル仙台において、本部役員4名、単組12名、合計16名の参加で東北地区の交流会が開催されました。冒頭、松議長の挨拶に続き、自己紹介、本部の活動報告、そして、土曜閉所運動を中心に意見交換がなされました。

道路建設産業や単組の現状を踏まえながら、東北地区の地域性である業務応援も含めて熱心に意見交換をしました。休日の取得は健康管理の面からも、私たち1人1人が意識を持って取り組むことが大事であることを改めて確認し閉会しました。

会議終了後には懇親会が開催され、同じ産業で働く仲間として情報交換も活発に行われて交流も一層深めることができました。最後に道路建設産業の発展を祈願して東北地区の交流会を終了しました。

東北地区交流会　幹事　才川昌信（東亜道路労働組合）

四国地協

去る平成18年6月16日、松山市内のホテルサンルート松山において、四国地区交流会が開催されました。前回は高松市内での開催でしたが今回は思い切って場所の変更を行い、5単組、12名、本部より松議長・渡辺事務局長が参加されました。自己紹介では前回参加された方々同士がなつかしさを感じつつ微笑むなど、和やかな雰囲気で会議がはじまりました。

今回の議題は「土曜閉所運動について」をメインに、各単組の現状のおかれている環境について意見交換を行いました。土曜閉所の難しさ、各組合員がより多くの土曜休日を取得するためにどんな事が現場でできるのか、交代制にしたくとも少ない人員配置の現状、平日の代休は顧客の対応で取得できないなどと様々な環境を話し合いました。しかし、最後には、おかれている環境を変えるのは自分たちにもあると、6月の残り半月ある土曜閉所運動に力を入れていくことにみんなで賛同しました。

会議ではほとんどが時短の話であったため、その後の懇親会に移ると、会場内は各単組の情報交換や地域的なことなどの意見交換が活発に行われ、お酒も入ったこともあり、笑い声で賑わいました。このような交流会は是非とも毎年1回は開催してほしいと一本締めで閉会となりました。

四国地区交流会　幹事：秋田正治（前田道路労働組合）

北陸地区

平成18年6月21日新潟東映ホテルにて、北陸地区地域交流会が、5単組10名、本部3名、合計13名の参加により開催されました。昨年に引き続いての開催となり、約半数の方が初めて参加されました。今年は見知った顔が多かったせいか、活発に意見交換がなされ、より細部にまで話が及んでいたように感じます。

議題は、主に土曜閉所についてでした。各単組とも事情が異なり、業務の内容も厳しくなってきているため、土曜休日に対する取り組みや考え方は様々でしたが、数年前よりは取得しやすい環境に変わりつつあるという意見も聞かれました。今後の交流会において、これら諸問題に対する改善に向けて、より発展的な意見交換ができればと思います。

他に、北陸地区が抱える消化生産性と人員配置の問題、レクレーションに対する取り組みなどが話し合われ、予定時間を超えてもなお意見が出されるほどの活況ぶりでした。

会議終了後の懇親会では、仕事上の情報交換ばかりでなく、皆さん転勤族ということもあり、まだまだ知らない北陸地方の貴重な話でも盛り上がっていたようです。

このような会を毎年行うことで、単組間の交流の場がさらに広がることを感じつつ、来年の再開を約束してお開きとなりました。

北陸地区交流会　幹事　小林平和（大成ロテック社員組合）

地協活動報告

関西地協

ボーリング大会・ソフトボール大会開催報告

今年度も恒例のボーリング大会・ソフトボール大会をそれぞれ1月28日、5月27日に開催致しました。

ボーリング大会では、9単組19チーム76名、ソフトボール大会は9単組8チーム約100名の参加の元、盛大な大会となりました。

今年は『打倒前田道路』を合言葉に始まりましたが、NIPPO労働組合チームが両大会とも団体優勝を獲得する結果となりました。ソフトボール大会では、熱戦次く熱戦で特に2試合連続サヨナラゲームのNIPPOの気迫は優勝チームに相応しいものでした。

毎年恒例の各大会を楽しみにして頂き、普段顔を合わすことの無い各単組の方々が楽しく一時を過ごして頂けた事は何よりです。参加された皆様お疲れさまでした。来年も楽しい大会にしましょう。

今度は『打倒NIPPO』を合言葉に？

関西地協　事務局長　井本崇雄（前田道路労働組合）

中部地協

ボウリング大会・潮干狩り開催報告

5月25日（木）名古屋市内のブランズウィックスポルトにおいて、7単組9チーム、総勢36名の参加でボウリング大会を開催いたしました。

はじめに栗本議長の挨拶そして始球式の後開催いたしました。

今年度は集中工事と重なったことから、参加単組数、参加人数とも例年よりわずかに少ないこともあり、初の試みとして単組対抗ではなく皆さん別々のレーンに別れていただき、他の単組との交流を図るという趣旨で、レーン対抗での団体戦としました。

ゲーム終了後に立食パーティー形式での懇親会及び表彰式を行い、男子の部では全大有労組の小椋さん、女子の部では東亜道路労組の寺田さんが優勝という結果となりました。皆さん日頃の業務を忘れ、楽しいひとときとなったことと考えております。

また、その3日後の5月28日（日）には愛知県上野間海岸において、建設連合愛知さん、UFJニコス労組さんとの共催で恒例の潮干狩りを開催しました。

今年も雨の予報であったにもかかわらず、参加された総勢650名におよぶ皆さんの日頃の行いのおかげで、受付を始めるころには雨も上がり、、うっすらと日が差しはじめ、真夏日の中での潮干狩りとなりました。魚のつかみ取り、潮干狩り、貝汁、、酒蒸し、各単組主催のバーベキューと、今年も無事盛会のうちに終了できましたのも、参加された皆さんのご協力のおかげです。また、準備にご協力いただいた役員の方々に対し、この場をお借りして感謝申し上げます。

ボウリング大会、潮干狩り共に、来年もさらにたくさんの方々にご参加頂くことと、特に潮干狩りにおいては『朝から晴天』であることを祈念して、中部地協の行事開催の報告とさせていただきます。

中部地協　事務局長　小蔦　剛（全大有労働組合）

第21回定期大会・単組支援セミナー開催のお知らせ

道建労協の定期大会及び単組支援セミナー「生活習慣の予防について」（仮）を下記の通り開催します。

道建労協は今年21年目を迎え、新たなスタートの一歩を踏み出しました。次の20周年に向けて、各単組代表の代議員の皆様による活発な意見・討議を期待しております。

記

日　時：2006年7月24日（月）　13：30～

場　所：ホテルラングウッド　〒116-0014　東京都荒川区東日暮里5-50-5

土曜閉所推進運動アンケート調査のお願い

道建労協では、総労働時間短縮が建設産業の魅力化に資するとの考えのもと、毎年土曜日閉所運動を推進しております。特に、一昨年からは柔軟性のある閉所を図ることが実質的な休暇の増加に寄与すると考え、6月及び11月を「強調月間」と位置づけ運動に取り組んでおります。

取り組みにあたっては、加盟単組各社及び道路建設産業関係機関に対し協力をお願いするとともに、組合員への浸透を図ってきました。しかしながら、企業間競争の激化、顧客への対応業務及び業務負担の増加等により、土曜休日取得は思うに任せない状況です。

「土曜閉所推進運動アンケート」は、各単組の実態を把握するためのものです。アンケート結果から導き出される「土曜閉所強調月間」の取り組み状況については、企業及び関係機関を訪問して提示説明を行い、改めて土曜閉所推進への協力要請を行っていきます。

従いまして、本アンケートは、今後の取り組みを進めていくうえで大変重要な意味を持っております。皆様のご協力をお願い致します。

物知りクイズ

暑くなってきましたね～。気がつけばもう7月、ビアガーデンでグイッと一杯飲むのが楽しみな季節になってきました。
カレンダーを見てみると、7月はいろんな記念があるようです。そこで今回は、7月の記念日にちなんだ問題です。。

Q1 7月7日は「冷やし中華の日」です。麺好きの日本人にとって、夏の暑い日は、なくてはならないメニューですね。ところでこの冷やし中華、名前は中華ですが発祥は日本のある都市だといわれています。一体どこでしょうか？

1．仙台　2．名古屋　3．広島　4．長崎

Q2 今年のプロ野球の幕開けはWBCでしたが、まさにオールスターのそろい踏みといった感じでした。今年も、もうすぐオールスター戦が始まります。1971年7月17日のオールスター戦で阪神の江夏豊投手が9連続三振を奪取したことは有名ですが、この連続三振の被害にあわなかった幸運な強打者は誰？

1．有藤道世　2．長池徳二　3．野村克也　4．土井正博

Q3 1985年7月13日、アフリカの飢餓を救済するため、史上最大のチャリティー・ライブといわれる「ライブ・エイド」が開催されました。このライブの提唱者であり、ノーベル平和賞の候補ともなったロック歌手ボブ・ゲルドフが所属していたバンド名は？

1．ポリス　2．ブームタウン・ラッツ　3．スパンダー・バレエ　4．U2

Q4 7月9日はあるアトラクションの記念日です。1955年の同日、東京のとある遊園地が開園となり、子供も大人も大好きなアトラクションが登場しました。ウキウキ、ワクワク、ドキドキ、このアトラクションは何？

1．メリーゴーランド　2．ジェットコースター　3．ティーカップ　4．ゴーカート

物知りクイズ当選者

第67号PAVE「物知りクイズ」の当選者が決定しました。

今回の問題は当協議が発足した当時、20年前の出来事クイズでした。

当選者の方々には粗品をお送りします。ご応募ありがとうございました。

これからも、多数のご応募お待ちしております。

前回の答え

Q1　④ 中畑 清　　Q3　④ 美味しんぼ
Q2　① ゴッドハンド　　Q4　④ あぶない刑事

当選者

西川　武志（大林道路職員組合）
亀山　貴憲（大成ロテック社員組合）
後藤　雅明（東亜道路労働組合）
佐々木恵子（東亜道路労働組合）
阿部　敏明（東亜道路労働組合）
山中　恒司（NIPPO労働組合）
大場　信春（NIPPO労働組合）
辻川　　篤（NIPPO労働組合）
長谷川正博（前田道路労働組合）
高桑　友紀（前田道路労働組合）

（敬称略）

〈応募方法〉下記を明記してお送りください。正解者の中から抽選で粗品をお送りします。たくさんのご応募をお待ちしております。

●解答　●住所（会社宛の場合は会社名もご記入ください）
●氏名　●所属単組名
●今回の紙面でよかった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。
●締め切り　8／10（木）
●宛先　〒141-8665
東京都品川区大崎1-13-3　前田道路労働組合内
道路建設産業労働組合協議会『PAVE』宛
FAX 03-5487-0051
E-mail:kumiai@maedaroad.co.jp

※次号は10月発行の予定です。

編・集・後・記

小学1年生の息子がスイミングクラブに通うようになり1ヶ月が経ちました。ある日スイミングクラブから電話があり、泳ぐ前から「帰りたい！」って大泣きしていると云うのです。迎えに行き事情を聞いたら、クラス替えになり友達が入れ替わりで帰ってしまって独りぼっちになったとの事。始めはただのわがままと思って話を聞いていましたが、ふと子供の頃の気持ちに戻り考えてみました。

この子にとっては「期待」を膨らませての初めての習い事でしたが、会えるはずの友達がいない事と、初心者クラスに一人だけと云う「孤独感」「不安感」に絶えられなくなった様子でした。本人にとっては人生初めて味わう「途轍もない孤独感」それがパニックの原因でした。（理解するのにかなり時間がかかりましたが…）

私たち社会でも同じ事だと思います。相手の立場になり目線を合わせて、相手の気持ちを理解する事（EQ=こころの知能指数）が人との付き合いとして重要ではないでしょうか。　大成ロテック社員組合　宮内英彰